

# 日本モンゴル経済委員会

## 第50回定時総会議案

- 第1号議案 令和4年度役員選任の件
- 第2号議案 令和3年度事業報告書
- 第3号議案 令和3年度収支計算書  
貸借対照表  
監査報告書
- 第4号議案 令和4年度事業計画書
- 第5号議案 令和4年度収支予算書

令和4年(2022年)6月13日

第1号議案

日本モンゴル経済委員会  
令和4年度役員選任の件

任期満了後再任となる役員を選任。

会 長 都梅博之 伊藤忠商事(株) 専務執行役員  
機械カンパニー プレジデント(再任)

理 事 住友商事(株)  
丸紅(株)  
三菱商事(株)

監 事 西谷和雄 日本商工会議所 理事・国際部長(再任)

## 第2号議案

# 日本モンゴル経済委員会 令和3年度事業報告書

令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

## 1. 情報収集・提供

モンゴルの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供した。

(1)2020年モンゴル貿易レポート(令和3年(2021年)6月16日)

(2)第4回勉強会資料配付 (令和3年(2021年)9月13日)

題名：新大統領と主要諸外国との経済協力

著者：エンクバヤル環日本海経済研究所調査研究部主任研究員兼経済交流部主任研究員

(3)第5回勉強会資料配付 (令和4年(2022年)4月11日)

題名：2021年のモンゴル国の政治・経済および2022年の展望

著者：エンクバヤル環日本海経済研究所調査研究部主任研究員兼経済交流部主任研究員

## 2. 交流事業

(1)モンゴル投資誘致セミナー(Invest in Mongolia-東京2021フォーラム)

(モンゴル国政府国家開発庁、International Finance Corporation(IFC、世界銀行グループ)、JETRO、在日モンゴル国大使館と共催)

(令和3年(2021年)5月20日 オンライン)

モンゴルの投資・ビジネス環境に関する最新情報とモンゴルに投資した日本企業の活動事例が紹介され、モンゴルの有望投資プロジェクトのプレゼンテーションが行われた。日本、モンゴル合わせて300名を超える参加があった。

(2)日本モンゴルEPA5周年記念「モンゴル中小企業対日輸出促進セミナー」に協力

(主催：JETRO、モンゴル商工会議所)(令和3年(2021年)6月25日 オンライン)

(3)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会

原事務局長が日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会の委員として出席するとともに各種記念行事の企画・準備に携わった。

1)第1回実行委員会

日時：令和3年(2021年)6月24日 10：30～12：00

会場：外務省

協議内容

①50周年記念文集の出版の検討

②モンゴル要人訪日に際しての歓迎レセプションの開催

参議院日モ議連事務局にモンゴル国会議長の招聘の検討を依頼

③実行委員会がモンゴル訪問団を派遣しクリルタイ(賢人会議)を開催

・参議院日モ議連事務局に参議院議長の訪モの検討を依頼

・衆議院日モ議連事務局に要人の訪モの検討を要請

④両国の大使館が50周年記念事業を認定する。

- ⑤委員会構成団体に50周年事業の企画を働きかけるとともに、各委員会構成団体が計画している行事をまとめ50周年記念事業リスト作成する。
- ⑥委員会構成組織より委員会活動費として50,000円徴収する。

## 2)第2回実行委員会

日時：令和3年(2021年)12月22日 15:00~16:00

形式：オンライン

協議内容

### ①日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業用パンフレット制作および内容を決定

- ・予算30万円
- ・サイズ：B3、四つ折り
- ・部数：2000部
- ・各委員会構成団体に100部配布
- ・日本モンゴル外交関係樹立50周年記念日の令和4年(2022年)2月24日発行
- ・両国外務大臣ほか要人メッセージ
- ・50周年記念事業一覧表
- ・実行委員会メンバー一覧表
- ・最近の日モ関係、50年の歴史、経済関係史
- ・最新略地図
- ・各委員会構成団体が魅力的なモンゴルを紹介する一枚を提供
- ・広告掲載料：一口50,000円

### ②50周年記念行事についての意見交換

- ・令和4年(2022年)8月16日以降のモンゴル訪問団の派遣と大クリルタイ(賢人会議)の開催
- ・要人来日時の歓迎会
- ・各委員会構成団体主催行事
- ・50周年記念事業を日本で実施する場合は在日モンゴル大使館に、モンゴルで実施する場合は在モンゴル日本大使館に認定申請すること。
- ・ロゴマークを使用については外務省ホームページのインストラクションの従うこと。
- ・50周年事業へのモンゴル政府の財政支援は多くは期待できない。

## 3)モンゴル国と日本国の外交関係樹立50周年記念祝賀レセプション

(駐日モンゴル国大使館主催)(令和4年(2022年)2月24日、於：駐日モンゴル国大使館)スタンドフラワーの贈呈と日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業用パンフレットの配布

## 4)第3回実行委員会

日時：令和4年(2022年)3月31日 14:00~15:00

場所：日本モンゴル親善協会

協議内容：50周年記念事業進捗状況の確認

- ・官民合同会議：開催時期未定。実行委員会モンゴル訪問開催期間令和4年

(2022年)8月20日(土)～24日(水)に合わせて開催することを検討している。

- ・ジャパンフェスティバル：令和4年(2022年)8月20日(土)～21日(日)開催予定
- ・実行委員会モンゴル訪問を令和4年(2022年)8月20日(土)～24日(水)に派遣し、8月23日(火)に大クリルタイ(賢人会議)およびレセプションを開催
- ・文化・芸能共同フェスティバル、青少年向けティーボール交流大会  
令和4年(2022年)8月20日(土)～24日(水)

日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会		
最高顧問	武部 勤	元自民党日本モンゴル友好促進議員連盟会長 在札幌モンゴル国名誉領事
顧問	二階俊博	衆議院日本モンゴル友好議員連盟顧問
	山崎正昭	参議院日本モンゴル友好議員連盟会長
	塩崎恭久	衆議院日本モンゴル友好議員連盟顧問
	古賀一成	元衆議院日本モンゴル友好議員連盟会長
委員長	林 幹雄	衆議院日本モンゴル友好議員連盟会長
副委員長	武部 新	衆議院日本モンゴル友好議員連盟事務局長
	都梅博之	日本モンゴル経済委員会会長
	吉田順一	日本モンゴル協会会長
	柳澤徳次	日本モンゴル親善協会理事長
事務局長	藤本幹子	日本モンゴル虹の会理事長
	清水武則	元駐モンゴル日本大使
事務局次長	窪田新一	日本モンゴル協会理事長
実行委員	参議院国際部、衆議院日本モンゴル友好議員連盟	
	日本モンゴル協会、日本モンゴル友好協会	
	日本モンゴル経済委員会、日本モンゴル虹の会	
	日本モンゴル親善協会	
	中山輝也	在新潟モンゴル国名誉領事
	安藤琢弥	在名古屋モンゴル国名誉領事
	河内志郎	在徳島モンゴル国名誉領事
	アルタンエルデネ	在福岡モンゴル国名誉領事
	関西広域中四国&モンゴル経済文化スポーツ交流協会	
	協力団体	ホストタウン、地方の友好団体等
オブザーバー	外務省、在日モンゴル大使館	

### 3. 会議の開催

令和3年度第49回定時総会を開催

(令和3年(2021年)6月16日(水) 16:00～17:00 於：如水会館 松風の間)

### 4. 会員状況

入会	なし
退会	なし
会員数	11社(増減 ±0)

第3号議案

日本モンゴル経済委員会  
令和3年度収支計算書(案)

令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

単位:円

科目	令和2年度決算額	令和3年度予算額(A)	令和3年度決算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,190,000	1,650,000	1,650,000	0	(1)
官民合同協議会参加費	0	0	0	0	(2)
諸会合費	0	540,000	0	△ 540,000	(3)
受取利息	21	0	28	28	
当期収入合計	2,190,021	2,190,000	1,650,028	△ 539,972	
支出の部					
事務局運営費	800,000	800,000	800,000	0	(4)
官民合同協議会開催費	0	1,400,000	0	△ 1,400,000	(5)
外交関係樹立50周年記念事業実行委員会関連費	0	250,000	70,000	△ 180,000	(6)
支払報酬	251,510	350,000	357,993	7,993	(7)
諸会合費	12,781	580,000	19,397	△ 560,603	(8)
通信費	1,924	5,000	4,070	△ 930	
交通費	7,331	5,000	1,698	△ 3,302	
雑費	10,358	2,000	40,460	38,460	(9)
当期支出合計	1,083,904	3,392,000	1,293,618	△ 2,098,382	
当期収支差額	1,106,117	(1,202,000)	356,410	1,558,410	
前期繰越収支差額	1,136,255	2,242,372	2,242,372	0	
次期繰越収支差額	2,242,372	1,040,372	2,598,782	1,558,410	

(注)

(1)の内訳:年会費 150,000円×11社=1,650,000円

(2)の内訳:官民合同協議会が開催されなかったので計上なし。

(3)の内訳:要人との懇談会等が開催されなかったので計上なし。

(4)の内訳:ロシアNIS貿易会に対する事務局運営費

(5)の内訳:官民合同協議会が開催されなかったので計上なし。

(6)の内訳:外交関係樹立50周年記念事業実行委員会への分担金

(7)の内訳:勉強会配布資料原稿料、翻訳料支払報酬

(8)の内訳:定時総会開催費用

(9)の内訳:駐日モンゴル大使館レセプションへのお花代、振込手数料等

日本モンゴル経済委員会

貸借対照表

令和4年(2022年)3月31日現在

単位:円

Ⅰ. 資産の部		Ⅱ. 負債の部	
科目	金額	科目	金額
1.流動資産	2,598,782	1.流動負債	0
現金預金	2,598,782		
未収金	-		
2.固定資産	0	2.固定負債	0
		負債合計	0
		Ⅲ. 正味財産の部	
		1.正味財産	2,598,782
資産合計	2,598,782	負債・正味財産合計	2,598,782

## 第4号議案

# 日本モンゴル経済委員会 令和4年度事業計画書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

### 1. 情報収集・提供

モンゴルの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供する。

- (1)2021年モンゴル貿易レポート（令和4年(2022年)6月13日）
- (2)第6回勉強会資料「モンゴル政府の新復興政策」配付（令和4年(2022年)6月13日）

### 2. 交流事業

講演会・セミナー・企業間交流等、日本とモンゴルのビジネス交流の促進、および友好親善関係を促進する各種の行事を開催する。

- (1)モンゴル経済フォーラム2022(Mongolia Economic Forum 2022)に協力  
(主催:モンゴル国政府)(令和4年(2022年)4月7日～8日、於:モンゴル国政府宮殿およびオンライン)
- (2)第10回官民合同協議会の開催  
本年度中にウランバートルにおいて第10回官民合同協議会を開催する。  
令和4年(2022年)6月14日(火)～6月17日(金)に、経済産業省、ジェトロ、経済委員会からなる事前現地調査団を派遣し、モンゴル側カンターパート(モンゴル国教育科学省あるいはモンゴル国経済発展省、およびモンゴル商工会議所)との間で、  
(3)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会活動②実行委員会主催モンゴル訪問団(令和4年(2022年)8月20日(土)～24日(水))の期間中の開催を協議する。
- (3)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会活動
  - ①モンゴル要人訪日(未定)に際しての歓迎レセプションの開催
  - ②モンゴル訪問団  
日程:令和4年(2022年)8月20日(土)～24日(水)  
内容:8月21日(日) ジャパンフェスティバル  
8月22日(月) 文化・芸能共同フェスティバル、青少年向けティーボール交流大会  
8月23日(火) 大クリルタイ(賢人会議)とレセプション  
・時間 大クリルタイ 13:00～18:00  
レセプション 18:00～19:30  
・会場 モンゴル国外務省  
・主な出席予定者  
林 幹雄 衆議院日本モンゴル友好議員連盟会長  
山崎正昭 参議院日本モンゴル友好議員連盟会長  
武部 勤 在札幌モンゴル国名誉領事  
花田麿人 元駐モンゴル日本大使



清水武則 元駐モンゴル日本大使  
小林弘之 駐モンゴル日本大使  
ソドノム 元モンゴル国首相  
バトツェツェグ モンゴル国外務大臣  
エンフアムガラシ モンゴル国教育・科学大臣  
ダワースレン モンゴル日本友好議員連盟会長  
フレルバートル 元駐日モンゴル大使  
モンゴル日本関係促進協会会長  
ジグジット 元駐日モンゴル大使

(4) 第7回勉強会・懇親会(令和4年(2022年)10月～12月 資料配付に変更の可能性あり)

### 3. 会議の開催

令和4年度第50回定時総会を開催

(令和4年(2022年)6月13日(月)16:00～17:15 於:如水会館 松風の間)

第5号議案

日本モンゴル経済委員会  
令和4年度収支予算書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

単位:円

科目	令和3年度予算額(A)	令和3年度決算額	令和4年度予算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	(1)
官民合同協議会参加費	0	0	0	0	(2)
諸会合費	540,000	0	540,000	0	(3)
受取利息	0	28	0	0	
当期収入合計	2,190,000	1,650,028	2,190,000	0	
支出の部					
事務局運営費	800,000	800,000	800,000	0	(4)
官民合同協議会開催費	1,400,000	0	1,400,000	0	(5)
外交関係樹立50周年記念事業実行委員会関連費	250,000	70,000	250,000	0	(6)
支払報酬	350,000	357,993	350,000	0	(7)
諸会合費	580,000	19,397	580,000	0	(8)
通信費	5,000	4,070	5,000	0	
交通費	5,000	1,698	5,000	0	
雑費	2,000	40,460	2,000	0	(9)
当期支出合計	3,392,000	1,293,618	3,392,000	0	
当期収支差額	(1,202,000)	356,410	(1,202,000)	0	
前期繰越収支差額	2,242,372	2,242,372	2,598,782	356,410	
次期繰越収支差額	1,040,372	2,598,782	1,396,782	356,410	

(注)

(1)の内訳: 150,000円×11社=1,650,000円

(2)第8回官民合同協議会の例に従い、ウランバートルにおける第10回官民協議会の参加費は徴収しない。

(3)の内訳: 勉強会・懇親会参加費3,000円×15名×2回= 90,000円  
要人との会合会費 10,000円×15名×3回=450,000円

(4)の内訳: ロシアNIS貿易に対する事務局運営費

(5)の内訳: 第10回官民合同協議会開催費(第8回官民合同協議会支出実績と概ね同額)

(6)の内訳: 2012年(平成24年)の外交樹立40周年の際の支出実績219,470円を参考に計上。

(7)の内訳: モンゴル投資誘致セミナーの通訳料・翻訳料100,000円、勉強会講演料・原稿料250,000円

(8)の内訳: 定時総会開催費用、勉強会・懇親会費用、要人との懇親会費用等

(9)の内訳: 振込手数料等